

学年	高2	教科	国語	科目	古典探究	単位数	3
教科書名	高等学校 古典探究 (数研出版)			副教材名	読んで見て覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新精選 古典文法(東京書籍) 基本セミナー 漢文入門(浜島書店) 漢文名分文選故事成語編 (筑摩書房) 古典文法習得のためのマスターノート (数研出版) <b>【選抜】</b> 大学入学共通テスト演習 (いしづな書店)		
コース・クラス	N進学						

### I. 目標

- 1 国語を適切に表現し的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高める。
- 2 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- 3 書かれたものに触れることで、思想や人間のありようを知る。

### II. 授業のねらい

- 1 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深める。
- 2 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めること。
- 3 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めること。
- 4 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させること。
- 5 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けること。

### III. 授業の進め方

- 1 文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法やグループ学習によって学習を進める。
- 2 図説等の副教材を適宜活用し、確認テストを実施する。
- 3 古文では、『新精選 古典文法』を活用して文法事項を学習し、漢文では、『漢文名分文選故事成語編』等を使用する。

### IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや漢字の書き取り、作品の通読を行うこと。
- 2 授業中には、板書や必要な情報をノートに書くこと。
- 3 配られた資料は、ノートに貼るかファイリングをし、必ず保存管理すること。
- 4 毎時教科書、ノート、副教材を授業前に準備し、机の上に置いておくこと。

### V. 定期試験

- |      |      |   |                    |
|------|------|---|--------------------|
| 1 学期 | 中間試験 | : | 敬語、使役形、初見問題        |
| 1 学期 | 期末試験 | : | 敬語、受身形、初見問題        |
| 2 学期 | 中間試験 | : | 陳述の副詞、比較形、最上級、初見問題 |
| 2 学期 | 期末試験 | : | 助詞、抑揚形、仮定形、初見問題    |
| 3 学期 | 学年末  | : | 総復習、初見問題           |

### VI. 評価の方法

- 1 定期試験・進研模試・授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト・計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物・積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	・敬語 (種類・現代語訳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・提出物</li> <li>・定期試験</li> <li>・進研模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の種類を理解する。</li> <li>・文章を用い、敬語を認識し、現代語訳できる</li> </ul>	
	5	・使役形		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を用い、使役形を認識し、現代語訳できる。</li> </ul>	
	6	・敬語 (敬意の方向)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の敬意の方向を理解する。</li> <li>・文章を用い、敬語を認識し、現代語訳できる</li> </ul>	
	7	・受身形		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を用い、受身形を認識し、現代語訳できる。</li> </ul>	
		※ 適宜、助動詞の復習をする。			
二学期	9	・陳述の副詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・提出物</li> <li>・定期試験</li> <li>・進研模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陳述の副詞を理解する。</li> <li>・文章を用い、陳述の副詞を認識し、現代語訳できる</li> </ul>	
	10	・比較形・最上級		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を用い、比較・最上級を認識し、現代語訳できる。</li> </ul>	
		・助詞		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助詞を理解する。</li> <li>・文章を用い、助詞を認識し、現代語訳できる</li> </ul>	
	11	・抑揚形・仮定形		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を用い、抑揚・仮定形を認識し、現代語訳できる。</li> </ul>	
12					
三学期	1	基礎学に向けた問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・提出物</li> <li>・定期試験</li> <li>・進研模試</li> </ul>	総復習を兼ねた、基礎学力到達度テストに向けた問題演習に取り組む。	
	2				
	3				

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。